−−−−−

山田です。

ほくでんアソシエの感想なのですが、

まず、思っていた以上にバリアフリーが充実しているところを最初に見て驚き、平屋建築で、中央部に中庭があるタイプという一風変わった建築に興味を持ちました。以前とある建築に関する番組で、似たような家が建築されたのを見たことがあるので、それと同じ工法ではないかなと思いました。

また、アソシエで働いている方々は非常に明るい方が多いように感じられ、職場の雰囲気も、私が就職活動などで見学したどの会社よりも良いように感じられます。ただ残念なのは、こうした環境整備を行えば、障害を持っておられる方でも充分に働けるということを証明できているのに、なかなか世間がそう考えていないこ とですね。

で、ちょっと帰ってきてから考えていたのですが、こうしたことも江別市の活性化に使えないかな？　と思っています。これまでは障害者の皆様に関しては、失礼ながら盲点だったのですが、環境整備さえしっかりできれば充分に活用できると思います。また、アソシエの方でいただいた資料の中に、スウェーデンでの障害者 の就労支援に関するものをいただき、それを参考に何かできないかなとも思います。

あと、千葉社長に、本日は非常に勉強させていただきました。障害者に対する視点が変わるだけでなく、さらなる可能性を感じさせていただきました。私としても、こういったことができるのだと言うものをもっと勉強していきたいと思います。

------------

３人の話の中で共通してたのが、「安定した生活を送れること」。

これは日本とフィンランドの学校の比較プロジェクトでフィンランドの子どもたちがよく発言していた「安心」という言葉に近いものがあると思います。

フィンランドでは「安心」の言葉の背景に、国の手厚い保障サービスが関係してますが、日本は就職して安定した収入が得られることが大切だと考えています。

そう考えると、（悪く言うと）お金がないとろくなサービスを受けられない、国の保障があてになってない状態だと思えます。

あまり前向きな考えが思い浮かびませんでしたが、自分なりに発見ができたよいきっかけになりました。

小向美穂

---------------

3年の阿部（未）です。

今回お話を伺って、就職活動について吸収すべきことをたくさん聞けて勉強になりました。

就活に対する姿勢として、「ガツガツ」という言葉が、私としては一番印象に残っています。

生活するうえでハンデがあろうと無かろうとそれに関係なく、お話を聞くことで多くを学べた

と思います。

---------------

まずは、遅れてしまい申し訳ありませんでした。

ハンディーのある人の正社員になってからの責任感などの重さなどの話を聞いて、就活に対するやる気と考え方が良い意味で変われたかなと思います。

ありがとうございました。

常松剛

−−−−−

建物が本当に働く人のためのつくりになっているなぁと感心しました。

私たちが普段生活している中では気づかない、障がい者の方たちにとっての不便さが、社会にはたくさんあるんだなと気づかされました。

例えばコンセントやスイッチの位置、トイレのつくりなど、他の施設などではあまり障がい者の方たちのことを考えられていないなと思いました。

障がい者の方たちは仕事を選ぶことがあまりできていない世の中ですが、これからどんどん障がい者を受け入れてくれる会社が増えていってほしいと思いました。

水沼あやか

−−−−−

今回、皆さんのお話を聞くことができ、就職活動をしている私にとってとても為になりました。

また、普段なかなか見学出来ないところを見ることが出来て、良い社会勉強になりました。

ありがとうございました。

高橋彩美

−−−−−

今回はお忙しいところ、貴重なお時間いただきましてありがとうございました。

私は今回なかなか考えがまとまらず、発言することが出来なかったのですが、私が就職活動をする上で会社や仕事に１番求めていたものは、「目に見えるやり甲斐があるか」ということでした。

仕事に対するやり甲斐は人それぞれだと思いますが、やはりひたすら何かをやるだけの仕事ではモチベーションは上がらないと思うので、なにか目に見えるやり甲斐が必要だと思っています。今回社員の方からは、お給料や、出来る仕事が増えていくことがやり甲斐というお話しをしていただきましたが、私にとってそれは、お客様の声を直接聞ける、コミュニケーション出来るということだと思っています。

私も来年から働くことになりますが、私は自分の就きたい仕事に就けた側の人だと思いますので、そこで働けることを幸せと感じながら、社会人として会社や社会のために努力を続けていく一方で、仕事が楽しいと感じられるようになりたいなと思っています。

吉田智美

−−−−−

私にとって障害者の方が働く環境を訪問したのは初めての経験だったのですが、普通の企業とは違う、アソシエならではの工夫ややり方を勉強することができました。

昨日の経験は、私の中の「働くモチベーションを上げる」ものと繋がる経験でした。

本当に貴重な経験だったと思います。ありがとうございました。

冨岡みなみ

 -----

提出が遅れてしまい、申し訳ありません。

私にとって、障害を持つ方々が多数勤務している職場に赴かせて頂いたのは今回が初めてだったのですが、牧さん達の生き生きとした表情、所長さんの意志のある力強い言葉を目の当たりにして、会社は一人一人の存在でなりたっているのだと、改めて実感しました。

当たり前の事なのですが、『多くのうちの一人』ではなく、個人個人が持つ力の違いを重視し、そのピースを繋ぎ合わせて会社として一つの方向性を持って前進していく事の大切さを実感しました。

所長さんの、『私だったら牧さんのような方を採用したい』とおっしゃられていた事がすごく印象的で、私がもし採用する側であったなら同じように考えると思いました。

遅れてしまった上に長文…

失礼いたしました。

  四阿 菜々子

大倉です。

遅れてすいません。

アソシエ訪問の感想

私は障がいを持つ方たちが働いている現場を始めて目にしました。体のハンディキャップを持ちながらも一緒懸命働く姿、感激しました。逆に私が働くことの意味を教わりました。そして、マキさんの言っていたように就職先をこだわらず更に視野を広げて探していこうと思いました。貴重な経験ありがとうございました。

　この度は、ほくでんアソシエについてのご説明ありがとうございました。

正直に感想を述べますと、アソシエに入った途端に、お洒落なオフィスだなと感じ、社長さんや、お三方のお話を聞きながら、私もこんな職場に勤めたいと思いました。

　オフィスの構造はお洒落で、会社全体を見渡せ、バリアフリーである事と共に、働く人の仕事形態に合わせて施設内が設計されていることに驚きました。また、社長さんからの社員の皆さんに対する思いやりや、社員さんの社長さんに対する壁のなさに微笑ましくも感じました。玄関の掃除をして、自らコ ミュニケーションを取ろうとする社長さんがとても素敵だなと思います。

　私の勝手なイメージなのですが、日本の企業は特に社長さんがフレンドリー、コミュニケーションを取ろうと社員にしてくれるということはないと思っていました。

　もしも、社員と社長の壁がなく、素敵なオフィスで働く事ができれば、仕事場でも、家でも充実して過ごせるのではないかと思いました。私は正直日本の企業に勤めるのに不安を感じていましたが、憧れていたような職場を作っている会社があることを知って、日本企業に対する見方が変わり、希望が持て たような気がします。アソシエさんのような企業が増えれば、働く意味を見出せる若者も増えると思います。

　お話を聞かせていただいた社長さん、社員の皆様、本当にありがとうございました。

瀧優希